

#### テーマ4：生涯を通じた社会参加が可能な環境整備

団塊の世代をはじめ、男女を問わずあらゆる人々の社会参加、地域への貢献を推進するため、就労と市民活動の機会を充実し、すべての市民が生きがい（働きがい）のある豊かな人生を実感し、生涯を通じて社会参加できる環境整備を進める。

#### 現状と課題

少子高齢社会の進展や市民ニーズの多様化により、福祉や環境、防災・防犯などの幅広い分野において、行政だけでは十分に解決できない地域課題が存在し、市民との協働により問題解決に向けた取り組みを進めていくことが必要不可欠となっている。

このような中、自治会による多様な取り組みのほか、本市が発祥の地といわれる、青色回転灯パトロールカーや生活バスよっかいち、大規模公園の維持管理などの先進的な市民活動が行われており、平成17年度から3年間「市民活動による地域再生計画」が国から認定され、3団体が内閣府から支援を受け、現在では、NPO法人認証数も91団体に上るなど、様々な団体が地域における新たな公共サービスの担い手として、多方面で活躍している。

一方、本市でも約1万6千人の団塊の世代（1947～1949年生まれ）が、定年退職期を迎えているが、各地域で市民活動を担っていただけるよう、活躍の場とマッチングするしくみについて、現在、活動している団体への支援など、さらなる充実が必要である。

#### リーディングプロジェクト

（継ぎ目のない活躍の場づくり）

「働く」という概念を、給料などの対価を受けて働くことだけでなく、サラリーマンであれば、退職後に人のため社会のために貢献することも働くこととして捉え、すべての市民が生涯を通じて「働く」ことができる環境として、仕事、コミュニティビジネス又は市民活動を通じた活躍の場づくりを進める。

特にコミュニティビジネスについては、生きがい（働きがい）を生み出し、地域社会の活性化に寄与することから、ビジネス創出のための相談を、行政の各部局が、各活動分野における中間支援組織（NPO）と連携して、ワンストップで対応できる体制の充実なども図る。

注）コミュニティビジネス：地域の課題を地域住民が主体的にビジネスの手法を用いて解決する取り組み

（活躍人材づくり）

学生から就業者、高齢者など、あらゆる世代が地域社会で活躍できる人材づくりのために、市民活動にかかる講座やワークショップの開催により、人材育成

や意識啓発に取り組むとともに、四日市独自の働きがいモデルづくりを進める。

(マッチング機能の強化)

地域に貢献したい人のために、就職情報と市民活動団体情報が一元的に収集できる場の創出と、市民活動と人材をマッチングさせる機能について、各関係機関と連携しつつ「なやプラザ」を拠点施設として活用し、活動中のNPOの協力も得ながら、より一層の充実に努める。

また、非営利の市民活動が安定して継続するためのしくみとして、社会貢献を考える企業とのマッチングをする。例えば、企業名を冠した市民活動補助制度の導入などを検討する。

(生涯現役で働きがいのある環境づくり)

自治会、ボランティア及びNPO等、さまざまな市民活動団体がこれまで担ってきた役割をお互いに十分理解し、さらに市全体として、新しい公共としての市民協働を推進するシステムづくりを行う。

【四日市働きがいモデルの概念図】

